

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

草津市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

滋賀・草津をもっと元気に！

奥村よしまさ プロフィール

1957年草津市山寺町に生まれる
1999年～草津市会議員(2期)
2007年～滋賀県議会議員(4期)
2016年 滋賀県議会 副議長(第106代)
2017年 滋賀県議会 議長(第97代)
2019年～自由民主党滋賀県議会議員団 会派代表

●自民党滋賀支部連合会 会長代行
第三選挙区支部 幹事長

《地域での主な役職》

・草津市スポーツ協会 会長
・滋賀県生活衛生協会 顧問
・滋賀県柔道整復師会 顧問
・滋賀県トラック協会 顧問
・草津市バレーボール協会 会長
・滋賀県電気工事工業組合 顧問
・社会医療法人「陽光会」理事
・滋賀ビルメンテナンス協会 顧問

ホームページ・LINEで様々な情報発信中！



奥村よしまさ
ホームページ



LINE
公式アカウント

ひと
が
元気!!

- 教育環境の充実による学力の向上！
- 地域包括ケアシステム構築で医療・介護を強化！
- 文化・スポーツ振興で心身ともに健康！

まち
が
元気!!

- 中小企業・農業支援で産業発展！
- 防災防犯対策で安心・安全強化！
- 滋賀の魅力発信で観光誘引！

自然
が
元気!!

- 琵琶湖の保全と活用！
- 環境こだわり農業の取組拡大！
- 林業成長産業化と森林づくり！



おくむら 自由民主党公認
奥村よしまさ

笑顔でも
今日も!!



1、コロナワクチン接種原則不要

ワクチン接種率が上がっているのにも関わらず新規感染者数の増加が止まりません。当初言われていたワクチンによる新規感染者数抑制効果はありません。大切な税金を海外製薬会社に垂れ流すのはやめましょう。医療の原則は自主決定です。ワクチンを受けるか受けないかは本人の判断に委ねるべきであり、同調圧力で接種が強要されることはあってはいけません。

2、コロナ検査原則不要

致死率が低くなってきているコロナウイルスについて、ことさら騒ぎたてることは医療現場では害悪にすらなっています。過剰な検査は恐怖心を煽り、過剰な反応につながります。

3、自宅療養原則不要

スタッフがコロナ陽性になると自宅療養により戦線離脱し、残されたスタッフに業務がふりかかるという悪循環が生じています。コロナ陽性患者は個室に閉じ込められ、ベッドに横たわり病院や施設の天井を見上げる生活が1ヶ月・2ヶ月続きます。入浴もリハビリもできず、元気に歩いていた高齢者でも寝たきりになり、それが原因で亡くられる方が多発しています。

厳しい状況にある医療・介護・福祉のみなさん、本当にお疲れ様です。そして本当にありがとうございます。現場の声を議会に届けます。政治に意見がある人は連絡ください。

Tel: 050-5897-6665 Mail: gogoshiga@gmail.ne.jp



しばた しゅん
柴田俊

《住んでよしの滋賀》

- 困った子は困っている子
～誰もが居場所のある社会へ～
- ・仮称) 子ども基本条例の制定
 - ・高齢者・子ども・障がい者の居場所づくり

《働いてよしの滋賀》

- 一人ひとりの良さが発揮される
～誰もが出番のある社会へ～
- ・若者・女性・障がい者の就労支援
 - ・働きやすい職場環境の推進

《訪れてよしの滋賀》

- 人も地域も輝く
～国内外から選ばれる滋賀へ～
- ・近江富士花緑公園や希望が丘文化公園などの公園の魅力化
 - ・矢橋帰帆島の活性化

<http://komaichiyo.net/>



《安全・安心の滋賀》

- 命を守り育む
～人生100年を滋賀で～
- ・医療と介護の連携、リハビリ体制の充実、人材育成
 - ・学校給食へ地産産・オーガニック農産物推進

《教育の滋賀》

- 変化が速い時代の中で
～たくましく生き抜く力を
育む教育は滋賀から～
- ・多様な学びの確保に向けた支援(フリースクール・特別支援教育など)
 - ・県立高校の魅力化(環境整備・入学選抜の見直し)

《環境のしが》

- 衆知を集め
～豊かな琵琶湖を次世代へ～
- ・省エネ・循環社会の推進
 - ・琵琶湖の保全と活用



無所属
こまい千代

1973年 滋賀県草津市生まれ。
玉川小学校、老上中学校、石山高校、早稲田大学法学部(刑法ゼミ)卒業。
2011年から滋賀県議会議員。
現在、全国災害ボランティア議員連盟・草津市里親会・女性都道府県議会議員の会幹事・草津市女性消防団に所属。

プロフィール

こまい千代
～思いをつなげて未来を創る
create our future～

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

草津市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

白井ゆきのり プロフィール

1962年8月草津市志那町生まれ 60歳
常盤小学校・松原中学校卒業
守山高等学校卒業
京都産業大学経営学部卒業
エールコーポレーション株式会社 創立
日本政策学校卒業(第9期生)
(公財)日本骨髄バンク登録説明員
草津商工会議所1号議員
人権啓発講師団
滋賀県議会議員

現在こんな活動をしています。

草津ライオンズクラブ会員
滋賀経済同友会会員
(公社)全日本不動産協会滋賀県本部 理事
草津市立少年センター・あすくる草津サポーター
(公財)日本骨髄バンク 登録説明員
湖南防火保安協会 副会長
びわこ成蹊スポーツ大学・キッズプログラム運営委員
草津市同和教育推進協議会委員
(一財)健康生きがい財団アドバイザー
草津市観光物産協会 理事
2025国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
実行委員会 参加
(公社)おうみ犯罪被害者支援センター賛助会員
(公財)淡海文化振興財団賛助会員
NPO法人滋賀自閉症研究会たんぼぼ賛助会員
滋賀県立草津養護学校後援会 会長

夢や希望の
持てる未来のために *ほんまに
やるぞやW!*

滋賀の課題は山積しています。一部ご紹介

交通 国道整備率55.4% 全国で41位
渋滞 県道整備率52.0% 全国で33位

安全 刑法犯認知件数5,814件(2021)
安心 → 6,831件(2022)

人口 合計特殊出生率
減少 2.19(1970)→ 1.46(2021)

健康 成人(男女)の週1回以上のスポーツ実施率
づくり 2021年 52% (2027年 滋賀県 目標70%以上)

白井ゆきのり8つのチャレンジ!

- 1 スポーツで、まちを元気に!健康に!
- 2 みんなにやさしい共生社会へ!
- 3 CO2ネットゼロ・脱炭素の未来へ!
- 4 安全に安心して暮らせる地域をつくる!
- 5 滋賀・草津、経済の活性化を!
- 6 ICT技術で医療体制の充実を!
- 7 子どもはまち一番の宝物!
- 8 シニアの皆様の暮らしの充実!



ホームページ



YouTube

このまちに生まれ、心から「良かった!」と
思える滋賀・草津を一緒に作りましょう!



自民党公認
白井ゆきのり

やさしくて笑顔あふれるまちづくり

政策のあり方、
行政の仕組みに
不断の見直し!

「気候変動」、「超高齢社会」、「コロナ禍」、
時代は転換期、前例のない社会
今こそ政治には、
未来への責任と構想力が必要です

今期、特に力を入れて来た取組

- コロナ禍での長時間労働是正
- 琵琶湖保全再生
- 盲ろう者支援
- 中小企業活性化
- 気候変動対策
- 児童虐待防止体制の強化
- 農林漁業の振興対策
- 警察力の強化、犯罪被害者支援
- 犬猫殺処分ゼロ など



“山本正はこんな人”
ぜひ、HP動画を
ご覧ください!!

ホームページ <http://tdsh333.jimdo.com>

● 命を大切にする社会

目指すのは、命を尊ぶ社会、命を大切にする教育です。暴力を憎み、虐待やいじめのない社会を目指します。その一方で、犬猫が人間社会の犠牲になっていることも看過できません。

● 社会全体で支えあう仕組みづくり

自然災害、犯罪被害、事故、障がいや難病、個人の力ではどうすることもできないさまざまな災害にあっても、社会全体で支え合える仕組みの更なる充実を目指します。

● 未来に責任、次世代につけを残さない

大胆かつ慎重な政策の選択と集中が重要であり、私たちの子どもや孫、将来世代に財政面でも環境面でも、これ以上のつけを残さないことが肝要です。

● 個々が尊重される真の共生社会に

責任ある自由のもとで、お互いの個性や価値観を認め合う共生社会、誰にも居場所と出番のある社会を目指します。

● 平和と民主主義を堅持する

日本の誇るべきは平和の堅持と民主主義の成熟、そして責任ある自由と人権の尊重であり、すべての基盤はそこにあると考えます。断固として守り、安心社会の構築に努めます。

プロフィール 2003年 草津市議会議員(2期) / 2011年 滋賀県議会議員(3期)
1958年 草津市生まれ / 膳所高校 / 滋賀大学(経済)中退



推薦
国民民主党
立憲民主党
連合
社会民主党
滋賀県
山本正
ただし

日本維新の会

正しい行財政改革と
少子高齢化に立ち向かう
福祉社会を!!

少子高齢化問題は年々深刻さを増し、これは滋賀県においても例外ではなく、昨年一年間の出生数が遂に1万人を割り込んでしまいました。また、心身に病がある人達に対してや介護が必要な高齢者へのサポートもまだまだ足りていない状態です。そこで、今後はムダを無くした正しい予算編成を行い、若者も障がい者も高齢者も笑顔で暮らせる滋賀県へと変革を起こすべく私“田中まこと”は立ち上がります!

プロフィール

滋賀県立五川高等学校 (H13年) 卒業
立命館大学経済学部 (H17年) 卒業



1 身を切る改革!

まずは自らの襟を正し、議員報酬の削減をした上で、抜本的な予算の見直しを行い、ムダな事に使われている財源を無くし、本当に必要な事への予算充當を目指します。

3 初等教育から高校までの学費無償化!

助成制度を強化し、幼稚園・保育園・こども園に通う園児から高校卒業までに掛かる、給食費を含めた全ての学費の無償化を目指します。

5 健康な高齢者の保険料の減額!

健康寿命 No.1 の滋賀県を、更に健康で長生きしたいと思える県にするべく、要支援又は要介護状態にない、健康な高齢者の健康保険料の減額を目指します。

2 出産・育児費の無償化!

出産・育児クーポンを発給し、出産費と初期段階に必要な育児用品費をクーポンで賄い、実費負担額0を目指します。

4 社会的弱者への福祉の充実!

産官学の連携を強化し、障がいのある人や介護が必要な高齢者が、安心して生活の出来る福祉社会を目指します。

田中まことの
5つの基本政策



日本維新の会
公認
たなか
田中まこと

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

守山市選挙区
滋賀県選挙管理委員会



Profile いわさ弘明

1954年 7月24日 守山市矢島町に生まれる
1999年 守山市議会議員に初当選する[3期]
2009年 守山市議会議員
2011年 滋賀県議会議員に初当選
2019年 二期目当選
2021年 第112代 滋賀県議会 副議長
2022年 第102代 滋賀県議会 議長(現在)
滋賀県スポーツ振興議員連盟 代表(現在)
滋賀県看護問題対策議員連盟 会長(現在)

自分の足で現場に立ち『見る・触れる・感じる』

いまいき元氣なまちづくり

ひと

- 安心な子育て、伸びる教育を育む環境を
- だれもが誇りと生きがいと夢を持てる社会に
- 「生涯現役」を目指し、支え合える「健康しが」に!

まち

- 地場産業・産品の振興の推進
- 地域経済活性化に向けた基盤整備
- 防犯・防災に努め! 安全で安心なまちへ

自然

- 自然環境を守り育て、心安らぐ場所を
- 「循環型社会」の仕組みづくり
- 自然を生かした文化・観光の振興

三期十二年県議会議員として、県民の皆様にお役にたてるよう願いや想いを積み上げ、条例制定や議会運営において存在感のある議会人として、そしてまた、現在第一〇二代滋賀県議長として精励してまいりました。社会の大きな変遷の中、新時代に向けた県政を始動できるように精進してまいります。

「幸せを感じる滋賀の実現」を目指し、初心を忘れることなくこの先の現場主義を大切に活動して参る所存でございます。皆様のご支援賜りますようお願い申し上げます。



自由民主党公認
いわさ弘明
ひろあき

あなたと創る! 新時代 小川やすえの実現力!

三日月知事が誕生した知事選で政策を担当した経験を活かし、知事とも議論を重ねながら、4年間で様々な政策を前に進めてきました!

実現力!

- ▶ 不登校対策としての県と市町の連携協定新設!
- ▶ 動物愛護政策が大きく進展!
- ▶ 県営住宅に養護施設等退所者が単身入居可能に
- ▶ 性犯罪の未然防止のための防犯アプリ開発へ
- ▶ LGBT等理解促進に向けた推進計画の前倒し改訂と、職員向けガイドラインの策定着手



その他、「違法マッサージ店摘発」「教育人材の確保と育成」「琵琶湖の貝珠の復興」「県立病院の経営のあり方」「つちっこプログラム復活」「交差点の安全対策」「孤独・孤立対策」等に取り組みました!

誰もが尊厳を保ち、支え合い、輝きあえる共生社会を目指して。
次の4年も、これからの人口減少局面に対応した持続可能な社会を作るために、さらなる政策実現に取り組みます!

次世代を育む

- 子どもの医療費無償化拡大!
- 不登校特例校設置
- 発達障害と引きこもり支援
- 給食の充実と負担軽減
- 小児保健医療センター再整備

安心の底上げ

- ひとり親支援
- 産後うつと自殺対策
- 障がい福祉の推進
- 精神医療の充実
- 医療、介護現場の処遇改善

地域の元気づけ

- 交差点、通学路の安全対策
- 新規就農サポート強化
- 地域特性に合わせた漁業構築
- 高齢者等の移動手段の確保
- 快適な道路ネットワーク構築

プロフィール
徳島県鳴門市生まれ。岡山大学卒業後、就職、結婚、出産を経て夫の転勤で滋賀へ。
「滋賀の女性が自分らしい一歩を踏み出すために」ひいめ〜る企画室創設。
フリーペーパー、テレビ・ラジオでの情報発信、子育て支援コミュニティカフェを運営。
2011年、守山市議会議員選挙でトップ当選。
2014年、「チームしが」事務局次長。三日月大造知事の県知事選挙で政策集や広報を担当。
2019年、滋賀県議会議員選挙に当選。(チームしが県議団) ●家族: 夫、子ども2人、ネコ2匹

守山中学校PTA広報部長・第5次守山市総合計画審議会委員・守山市市民参加の基本ルール策定委員会委員・滋賀県行政改革審議会委員・滋賀県産業振興戦略策定委員会・滋賀県子どもセンター設置推進協議会委員・日本放送文化大賞近畿地区選考委員・BBCびわ湖放送番組審議会委員長 等歴任



おがわ
小川やすえ
無所属
連合滋賀 国民民主党 立憲民主党 社会民主党 推薦

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

4月1日(土) から 4月8日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

守山市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

新たな時代へ！みなさまと一緒に作る 豊かな滋賀の未来

日頃より地域のみなさまと一緒にボランティア活動をしています。
地域のみなさまの声を聴き『選挙の時だけ』じゃない政治をしています。

確かな
実績
実現力



豊かな教育環境の滋賀へ

豊かな福祉環境の滋賀へ

市議会議員の主な実績

豊かな経済・雇用の滋賀へ

豊かな自然環境の滋賀へ

守山市初 返還免除型奨学金 創設
返さなくていい奨学金

命を守る防災の滋賀へ

豊かな滋賀の未来を
一緒に作りましょう。

子育て世代の教育費負担軽減
子どもたちの未来のために
滋賀県独自の給付型奨学金を
つくりましょう！

子ども、子育て、高齢者世代医療費無償化拡大、充実した福祉。
地域のみなさまが健康で豊かな生活を滋賀県で。



チームしが 公認

国民民主党 推薦

立憲民主党 推薦

社会民主党 推薦

連合滋賀 推薦

応援団長 笠原吉孝 医療法人 かさほ医院名誉院長

プロフィール 1973年12月30日生まれ 49歳/1983年 児童養護施設 湘南学園入所/1996年 帝
京大学法学部 卒業/1996年 製造業の営業・管理職 約20年会社員/2015年 守山市
議会議員1期・2期目/2019年 守山市議会議員3期目/2022年 守山市議会 副議長
地域活動等 認定NPO法人四つ葉のクローバー 副理事長/児童養護施設守山学園後援会 副会
長/守山市赤十字奉仕団 副委員長/緑のもりやまを創る会 理事/NPO法人豊穡の
郷会員/伊勢遺跡保存会会員/守山学区福祉協力員/守山市社会功労者 受賞

詳しくはこちらをぜひご覧ください
QRコード
ホームページ Facebook Instagram YouTube

毎日が投票日
期日前投票で
もりしげ重則に
投票できます

★守山市役所 大ホール
午前8時30分から午後8時まで
★もりやまエコパーク交流拠点施設
午前9時から午後8時まで

もりしげ
重則 しげのり

日本維新の会

しがらみ無き
維新が変える

ふたかみ かつとも
二上勝友 プロフィール

- ◆ 昭和49(1974)年生まれ 48歳
- ◆ 京都産業大学外国語学部卒業
- ◆ 元教員 公立の高校・中学校・小学校
で18年間勤務
守山市立明富中学校に6年間勤務
(英語科)
- ◆ 元日本代表選手(クレイ射撃競技)

私が自信をもって推薦します

日本維新の会 共同代表
吉村洋文

1 「身を切る改革」の断行

議員は住民や将来の次世代のために改革を行わなければいけません。その覚悟を示すため、議員報酬の削減を目指し、議会で実現できるまでの間は報酬の一部の寄付を提言します。また、税の使い方を丁寧にチェックし、公開し、無駄のない県政の実現を目指します。

2 多様性に応えた教育

現在の学校では、LGBTQの生徒やネグレクト被害の生徒など、多様な子どもたちに対して多様な支援が求められています。しかし、その対応を求められている教員の勤務環境は非常に厳しく、授業とクラスの運営といった本来の仕事以外に処理しなければならない仕事が増え多岐にわたり、そういった問題に向き合う時間がないのが現状です。それらの問題に対して、地域の力やデジタル技術を活用して、多様性に応えた教育の推進を提言します。

3 災害に強い街づくり

災害にはそれぞれ難しい課題が山積み状態です。それらの問題について、地域の方々との話し合いの場を多く設け、専門家や有識者から見識を得るとともに、デジタル技術も防災減災に活用して、災害弱者が取り残されないよう改革を行うべきです。各種学校でも防災教育実施の提言をするなど、災害に強い滋賀県を目指します。

4 福祉の充実

少子高齢化や人口減少の状況を踏まえ、出産にかかる費用の完全無償化を実現し、子育て世代へのサポートを推進します。子どもたちの命と育ちを守るため、各学校へスクールカウンセラーの常駐や、学校給食の無償化、児童相談所の機能強化など、子ども目線の取り組みを提言します。



日本維新の会 公認
ふたかみ かつとも

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

4月1日(土) から 4月8日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

栗東市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

県民とともに!! 県民主軸の滋賀を前に進める7つのトライ!!

九里学プロフィール

昭和38年 栗東市生まれ (8人家族)
金勝小学校、栗東中学校、栗東高校卒業
(第6期生徒会長)
龍谷大学経営学部経営学科卒業
大和ハウス工業株式会社東支社建築事業本部勤務 (東京・アビエーランド等の建築に数多く携わる)
その後、栗東市に戻り、栗東芸術文化会館、栗東市歴史民俗博物館、栗東市民体育館、野洲川体育館などで芸術・文化・スポーツの各種事業をプロデュースし、栗東市民・滋賀県民の方々と共に活動する

平成19年滋賀県議会議員選挙初当選 (4期目)
現在まで以下の役職を拝命。
滋賀県監査委員、環境・農水常任委員長、行財政対策特別委員長、関西広域連合議員連事 (滋賀県議会代表)、チームしが代表 他
現在、土木交通・警察・企業常任委員会委員、国スポ・陸スポ大会対策特別委員会委員 他

あなたの1票を託してください!



九里学

詳細選挙公約はこちら!
Kunori-try.jp くらりのチャンネルも見てね

トライ7
議員自ら身を削りひらかれた
滋賀県政をつくりまします

トライ6
芸術文化・スポーツで心身共に
豊かな滋賀県政をつくりまします

トライ5
農林業を大切に持続可能な
滋賀県政をつくりまします

トライ4
高齢者にあたたかく安心の
滋賀県政をつくりまします

トライ3
災害に強く変化に柔軟な
滋賀県政をつくりまします

トライ2
働く人と場に寄り添う
滋賀県政をつくりまします

トライ1
子育てにやさしい
滋賀県政をつくりまします

九里学の政治信条

政治信条は「県政がスス張り宣言」。身近でひらかれた県政のために、地道にひたむきに、自身の足で現場を訪れ、課題を直接確認・解決することにより、暮らし、生活者、消費者、働く仲間、皆の視点・立場で県民市民の皆様とともにこれからの現場主義で取り組み続けてまいります。



くのり まなぶ
九里学

無所属
チームしが 推薦

つながる滋賀! 活かそう栗東!

県民が決める県民のための滋賀県政へ



One for all, all for one, ~ひとりとはみんなのために、みんなはひとりのために~

やる気 元気 本気 田中ひでき

私が取り組む議員活動の「5つの柱」

1. 教育環境

子どもは地域の宝! 子育て・教育環境の整備・充実を図り、未来への投資を推進します。
・産後ケア事業や待機児童ゼロを目指し、安心して生み育てられる環境づくり
・やまのこ事業の更なる拡充
・SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクールソーシャルワーカー)の拡充

2. 医療福祉

医療福祉介護施策の充実を図り、誰もが安心して暮らせるまちを推進します。
・産後ケア最先端の情報共有システム「びわ湖あさがおネット」を推進
・「栗東はつつ100歳条例」(栗東100歳大学)を県内外に発信

3. 自然環境

待ったなし! 栗東からMLGs(マザーレイクゴールズ)を推進し、びわ湖の環境を守ります。
・旧RD最終処分場の経過調査を注視し、市民に広く親しまれる跡地利用の検討
・カーボンゼロシティ(CO2ネットゼロ)実現に向けての取り組み
・金勝の緑を守るため主伐・再造林による循環型林業の実現への取り組み

4. 地域経済

地方創生を加速させ、地域経済の活性化を推進します。
・起業家等として中小企業活性化への支援を通じて、働く方の所得向上
・観光入り込み客数の増加を目指し地域経済の活性化
・栗東産、農産物のブランド化、販売チャンネル戦略への取り組み

5. 防災・減災

インフラ整備を進め災害に強い栗東・滋賀で安全で安心なまちづくりを推進します。
・栗東三河川(金勝・栗山・中ノ井)の平地化・ショートカットを推進し自然災害の抑止
・現在、着工している道路整備(国道1・8号、山手幹線等)の早期完了

プロフィール

昭和39年5月、栗東市辻生

栗山幼稚園
栗山小学校
栗東中学校
滋賀県立瀬田工業高等学校
HIT株式会社 代表取締役

主な現在の活動

・自由民主党栗山支部 支部長
・自由民主党栗東支部支部連絡協議会 副会長
・栗東市消防団第2分団 班長
・防災士
・滋賀県防衛協会青年部会 副会長
・近畿地区防衛協会青年部会 常任理事
・栗東市商工会 会員
・栗東市観光協会 会員
・栗東国際交流協会 会員
・保護司候補者検討協議会 委員
・栗東ロータリークラブ 副幹事
・瀬田工業高等学校同窓会三杉会 副会長



自由民主党公認
田中ひでき

日本維新の会

改革の
突破力
ブレない政策

片岡かつやプロフィール

- ◆ 昭和53(1978)年生まれ44歳
- ◆ 京都学園大学(現 京都先端科学大学) 経営学部卒 教職課程修了
- ◆ 平成23(2011)年 栗東市議会議員選挙 初当選(当選3回)
- ◆ 副議長・議会運営委員長・予算委員長 湖南広域行政協議会議員等を歴任

私が自信をもって推薦します

日本維新の会 共同代表

吉村洋文

1 「身を切る改革」と徹底した透明化・議会改革で、政治に信頼を取り戻します

2 教育・子育てへの徹底投資、多様性を支える社会政策を進めます

3 「日本大改革」に向けた税制改革・社会保障制度改革・規制改革を推進します

4 中央集権の限界を突破する統治機構改革、地方分権と地方の自立を目指します

5 減税とコロナ対応、滋賀県を再び飛躍させる緊急経済対策



日本維新の会公認
片岡かつや

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

栗東市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、
4月1日(土) から 4月8日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

甲賀市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

村上げんよう 元気の「健康しが」へまっすぐ一直線!!

私も力強く応援しています
甲賀市長 岩永裕貴

村上げんよう プロフィール

- ・昭和30年 土山町で生まれる
- ・昭和54年 愛知医科大学医学部卒業
- ・昭和58年 滋賀医科大学勤務
- ・平成11年 村上整形外科クリニック開設
- ・平成13年 滋賀県スポーツ協会会長
- ・平成18年 滋賀医科大学臨床教授
- ・平成25年 甲賀市市長選当選
- ・平成31年 滋賀県議会議員・初当選
- ・令和3年 自由民主党土山支部支部長
- ・令和3年 甲賀市バススポーツ協会会長
- ・令和4年 県議会行政・新型コロナウイルス感染症等危機管理対策特別委員会副委員長

子どもたちへの処方箋

- 救急医療体制の更なる充実を目指します
- 病児保育を推進し、風邪など軽い症状の子どもの預かる仕組みを一層広げ、子育て世代の負担軽減を目指します
- 産後ケアの体制強化を進め出産に優しい環境整備を目指します
- 水質保全に力を入れ、子どもたちの未来に優しい甲賀の自然を目指します

お年寄りへの処方箋

- 健康を支え、お年寄りが活躍できる社会を目指します
- 公共交通に対するサポート体制の強化を目指します
- スポーツを通じて、老若男女の心と体の健康増進を目指します
- 積極的なバリアフリー化を目指します

働く世代への処方箋

- 甲賀の自然や忍びなど独自文化を活用した外国人観光客向けの施設で観光客誘致を目指します
- 三重県や東近江市・日野町と連携し、名神名阪連絡道路の確実な実現を目指します
- 企業誘致を行い、甲賀市と滋賀県の更なる発展を目指します
- 産休や育休の積極的な推進で働き方改革の推進を目指します
- 地域での就労機会の充実を図り、甲賀市で働けるまちづくりを目指します

農業者への処方箋

- 新型コロナウイルスの影響を受けている農業者を支援し、経営継続・発展できるよう万全の対策を図ります
- 野生獣による農業被害を一層減らすため侵入防止柵の整備をはじめ、獣害対策アドバイザー等人材育成の取組み等支援の拡充を図ります
- 「朝宮茶」「土山茶」の消費者ニーズに対応した付加価値の高い茶葉の生産や、「近江のお茶」の消費拡大対策・生産基盤維持管理に対する支援を図ります



自由民主党公認
村上げんよう

■プロフィール■

- 1972年 甲賀市生まれ(甲賀市甲賀町在住)
- 1985年 甲賀町立油日小学校 卒業
- 1988年 甲賀町立甲賀中学校 卒業
- 1991年 滋賀県立国府高等学校 卒業
- 1995年 学校法人コンピュータ総合学園HAL 4年制課程 情報経済学科 卒業
- 2015年 滋賀県議会議員選挙 初当選
- 2019年 滋賀県議会議員選挙 二期目当選
- 2021年 チームしが県議団 政策調査会 副会長
- 2022年 チームしが県議団 政策調査会 会長

■これまでの主な役職等■

- ・公益社団法人水口青年会議所 理事長
- ・特定非営利活動法人こぞれGOSHU 理事長
- ・甲賀市消防団 甲賀方面隊団地野班 班長
- ・甲賀市立油日小学校 PTA役員
- ・甲賀市立甲賀中学校 PTA会長
- ・立命館中学校高等学校 PTA役員
- ・近江兄弟社高等学校 PTA役員
- ・滋賀県立国際情報高等学校 同窓会 会長(現在)
- ・特定非営利活動法人 ROSAスポーツクラブ 顧問(現在)
- ・株式会社あきない応援団 取締役会長(現在)

公式ホームページ Facebook Instagram



「誰一人取り残さない」持続可能な滋賀の実現に向けて

1 自然と共に

- 豊かに実る美しい地域づくりと滋賀・びわ湖ブランドの発信
- 再生可能エネルギーをベースとした新しいエネルギー社会の構築
- 琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現

2 人と共に

- 子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現
- 「文化とスポーツの力」を活かした元氣な滋賀の創造
- すべての人に居場所と出番があり、最期まで健康で充実した人生を送れる社会の実現

これまでの主な取り組み

- CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例制定
- 第72回全国植樹祭の開催 ●農水産業の6次産業化の推進 ●獣害対策への取組み ●林業従事者の育成と県産木材の流通促進への取組み ●「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定 ●MLGs(マザーレイクゴールズ)策定 ●国立環境研究所琵琶湖分室設置 など



3つの「共に」

これまでの主な取り組み

- 乳幼児医療費・多子世帯保育料の無料化 ●学力向上の取組み ●「うみのこ」新船就航 ●県立高校のエアコン整備 ●県立美術館のリニューアル ●障害者差別のない共生社会づくり条例制定 ●医療、福祉、介護人材の育成、確保に向けた取組み ●がん対策の推進とがん患者の就労支援 など

これまでの主な取り組み

- 減災対策など地域防災力の向上
- 滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造
- 「ひと」や「もの」が行き交う活力ある県づくり

3 社会と共に

これまでの主な取り組み

- 滋賀県危機管理センターの開設、機能強化 ●流域治水の取組み ●びわ池第1次ナショナルサイクルート指定 ●滋賀県が締結する契約に関する条例制定 ●「こぞ滋賀」のリニューアルオープン ●中小企業の事業継承支援 ●JR津線ICOCA改札機の設置(甲南～柘植間) ●名神名阪連絡道路の実現に向けた取組み など



チームしが公認
田中 白郎

岸田大軍拡・増税NOの一票を

岸田内閣による大軍拡・増税には、これまで自民党を支持してきた人からも批判の声が。ところが県議会自民党は「防衛力強化の意見書」を強行可決しました。戦争はあかん、憲法9条守れ、平和の願いは、小西へ。

国スポ優先ではなく、暮らし守れの一票を

国スポ優先ではなく福祉や教育こそ優先する県政に税金の使い方を変えれば切実な願いは実現します。

- 高校卒業までの医療費無料化
- 学校給食費の無償化
- 加齢性難聴に伴う補聴器購入に補助
- 養護学校新設・分離で、超過密・大規模化解消

甲賀から16年ぶりに議席獲得を

全県で5議席以上の議員団を

日本共産党

小西きよつぐ

32年医療現場で働き 市議12年の経験いかす

昨年の知事選出馬で、二日月県政の問題点が次々と明らかになりました。国スポには593億円も税金をつぎ込む一方で、教育・福祉予算は後回し。そのため県立高校生一人当たりの教育費は全国最低、老人ホーム数も全国最低。税金の使い方を変えれば暮らしが良くなることを実感しました。県議会では、自民・公明・チームしがも三日月県政の応援団に、「ここを変えない」と今回立候補を決意しました。甲賀から16年ぶりに、何としても暮らしを守る日本共産党の議席を。力を貸して下さい。



小西 喜代次

1950年生れ、前甲賀市議(3期)、滋賀県民選事務局長など歴任、信楽町勸官



この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

甲賀市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

美しい滋賀を目指して。

ただしいことをまっすぐに。

自民党

プロフィール

1955.11.9 甲賀市生まれ
県立大津商業高等学校卒業
甲賀市議会議員(5期目)
一般社団法人 滋賀県理研会会長
滋賀県青年会議所理事長
滋賀県商工会青年部長
甲賀市商工会理事
甲賀市地域観光協会合併協議
会会長
甲賀市総合計画審議会会長

甲賀市議会役職歴

副議長
総務常任委員長
名神名阪連絡道路整備促進甲
賀市議会議員連盟会長
甲賀行政組合議会監査委員

自民党

昭和54年入党(党龄43年)
滋賀県建設員(平成30年～現在)

4/9は投票へ!

推薦者 甲賀市長 岩永裕貴

衆議院議員 小寺ひろお
参議院議員 ありむら治子

政策は
こちらから



<https://shigaraki.jp/>
ふみチャンネルWeb



facebook
@yumekokafumito



👍 婚活・結婚・妊活・妊娠・出産・
子育て・就労・教育、一環した考えのもと、
働くお母さん・お父さんを応援します。



👍 地域創生の主役となる女性
活躍・起業の推進を強
力にサポートします。

👍 地域経済の回復と、農業
振興を支援し地場産品の
強化に取り組みます。

👍 お年寄りや地域の宝
～豊富な人生経験を
次代に繋げる豊かな
社会の実現に取り組
みます。

👍 U/Iターンを希望す
る、若者たちの働く
場所や子育て支援を
積極的に進めます。

👍 美しいまちなかの輝き
豊かな暮らしと日々の幸せを感じる

👍 美しいまちなかの輝き
地域の活力・自然との共生

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには

👍 美しいまちなかの輝き
誰もが幸せになるためには



小川ふみと

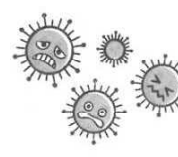
防災治水政策により
エネルギー地産地消・CO2削減も推進

河川整備などの治水政
策は都道府県の積極的
な推進し水害から皆様
をお守りすると同時に
技術革新が進む小水力
発電の普及を進め、エ
ネルギーの地産地消と
CO2削減を進めます。



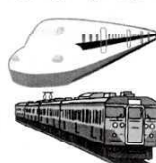
確かな医療政策・コロナ禍に終止符を

様々な情報が錯綜して
きたコロナ対策。現状
に見合った、適正な対
策に見直します。感染
症2類相当から5類相
当への変更が決まりま
した。後戻りのない、
確かな医療政策を実現
し、元の日常を完全に
取り戻します。



草津線減便に歯止めを!
新幹線栗東新駅の再挑戦!

新幹線栗東新駅事業で、
複線化及び新快速の導入
予定だったJR草津線。
実現していたら、今日の
減便は免れていました。
名神名阪連絡道路の推進
と合わせ、鉄道網拡充も
推進します。新幹線栗東
新駅の再検討、JR草津
線の東西拡充を推進し、
甲賀市の大切な公共交通
を守ります。



経済・農業の強靱化でつくる賑わい

物価高騰は、過剰な輸
入依存が原因。工業品、
農作物の国産化、滋賀
県内での生産力強化を
します。2年後の大阪
関西万博での発信等で
販路を拡大します。結
果、雇用を増やし、若
い人達を滋賀甲賀に呼
び込みます。



滋賀甲賀の次の20年を拓く
20年後に向けた種を共に撒きませんか



糸目まさき

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

4月1日(土) から 4月8日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

湖南省選挙区
滋賀県選挙管理委員会

誰でも、いつからでも、何度でも挑戦できる! そんな未来社会を目指します!

身を切る改革—自身の身を切り政治家としての覚悟を示すことは大きな改革へ繋ぐはじめの一歩です—
身を切る改革とは政治への信頼を取り戻す政治家の覚悟です。

未来ある次世代への投資—出産・子育て・教育への徹底投資で創る未来社会—
所得格差が学習格差にならないよう、未来への投資を国においても推進し、全国展開します。

ひとりひとりに光を—障がいのある方への支援—

ポストコロナ時代における働き方に鑑み、健常者のみならず障がい者就労についてもテレワーク(在宅就労)で行えるよう、就労系福祉サービスを活用できる制度とICT環境の整備を進めます。

あなたはあなたのままでいい—LGBTQ 性的マイノリティーへの取り組み—

同性婚を認め、LGBTQなどの性的少数者が不当な差別をされないための施策を推進します。

グローバル化—外国籍の方との共生—

マイナンバーカードによる外国人労働者の在留管理を推進するとともに、新たな外国人労働者の受け入れも踏まえ、AIチャットボット・AI翻訳を活用した行政の多言語対応など、外国籍児童・外国出身児童を含めた外国籍住民との共生を図ります。

高齢者に優しい社会を—高齢者が社会に参加し輝けるために—

エイジフレンドリーシティへの取り組みを推進します。
少子化に伴う生産性の減少対策として、リタイヤした高齢者が再び社会に参加し輝けるための取り組みを進めます。

自助・共助・公助—危機管理と防災対策—

南海トラフ巨大地震や原子力発電所事故への対策と備えを進めます。

プロフィール
【自己紹介】
生年月日：1969年2月22日（54歳）
家 族：妻 長女 長男（4人家族）
座右の銘：慧岳（父の法名です：知恵を以て、真実を見抜き、過酷な岳の頂を目指す）
【経 歴】
甲西町 柑子袋に生まれる
平松保育園卒園
三雲小学校卒業
甲西中学校卒業
甲西高等学校卒業（2期生）
TOTO株式会社（1989年8月～2021年9月）
湖南省議会議員（2021年11月～2023年3月）
【地域での活動、役職など（まちづくり）】
菩提寺北小学校 PTA会長（平成30年度）
菩提寺北小学校 理事
菩提寺まちづくり協議会子供育成委員会 副委員長
湖南省青少年育成市民会議 理事（元）
保護司
防災士
【市議会議員活動】
2021年10月 湖南省議会議員選挙当選
会 派：湖南WAKUプロジェクト
委員会：産業経済常任委員会 副委員長
決算常任委員会 広報委員会



柴田 栄一
日本維新の会公認
54歳

このままではあかん!

本気で滋賀県、そして湖南省を前進させるため、
相当の覚悟で挑戦いたします。

変わりゆく時代に勝負できる地域を作りたい。
この選挙が「自分たちの住む町を変えた」と将来、
胸を張って子ども達に言いたい。そのために精一杯
行動することを誓います!あなたの一票で一緒に
未来を切り拓いていきましょう!

**子育て世代を代表して
次世代を担います!**

生活に寄り添い、
安心を追求した

まちづくり

熱量を感じる

働く場づくり

生きる喜びと
可能性を感じる

教育・子育て

責任ある情報提供

政治の見える化

～ 主な活動履歴 ～
・湖南省 PTA 連絡協議会会長
・湖南省立日枝中学校 PTA 会長
・湖南省立下田小学校 PTA 会長
・湖南省消防団第3分団副分団長
・湖南省立下田小学校学校運営協議会理事
・下田青少年育成学区市民会議副会長
・湖南省3大まつり実行委員
・草津線沿線地域に高専を誘致する会事務局
【現活動】
・三雲城址サスケプロジェクト代表
・第50回日本PTA近畿ブロック大会
実行委員会分科会部長
・一般社団法人スマイルプロジェクト理事
・湖南省商工会下田支部総代
・子ども食堂「ひまわり教室」学習指導員



藤川 としき
無所属48歳

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

4月1日(土) から **4月8日(土)** までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

湖南市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

昭和52年(1977年)生まれ
菩提寺小学校卒業
甲西北中学校卒業
滋賀県立水口東高等学校卒業
聖和大学(現関西学院)卒業

45歳
1977年/07

●滋賀県議会
現 教育文化スポーツ常任委員会委員
現 予算特別委員会委員
現 地方創生・DX推進特別委員会委員
現 自民党滋賀県連所属
●湖南市議会
元 湖南市議会議員(3期)
元 湖南市議会第11代議長
元 議会運営委員会委員長
元 総務常任委員会委員長
元 産業経済常任委員会委員長
元 議会改革推進特別委員会副委員長
元 庁舎整備特別委員会副委員長
元 都市計画審議会委員
元 甲賀広域行政組合議会議員
元 空き家対策推進協議会委員
元 会派自民誠心会代表

●経歴など
現 菩提寺地域商店会副会長
現 湖南市商工会青年部役員
現 (公社)水口納税協会青年部役員
現 菩提寺区相談役
現 滋賀県防衛協会湖南支部副会長
現 甲賀調理師会
現 自民党滋賀県第4選挙区青年局長
現 (公社)水口青年会議所第46代理事長
現 湖南市商工会青年部部長
元 大学自治会長、大学祭実行委員長ほか

プロフィール

地域特化した諸課題にも取り組みますが、日本、滋賀県全域の目をもつて活動して参ります。自民党には、みなさまの意見を遠慮なく申し上げ、信頼ある政界へ成長させます。

10 自民党に新しさを、次世代の滋賀、日本へ挑む
9 デジタル加速によるアナログ回帰
8 夢が描ける農林水産業を推進する
7 やりたくナル、使いたくナル、を引き出して
6 「健康しが」をのびし、やさしい滋賀を現実に
5 安全で安心の滋賀を目指して
4 道橋河川の適正管理、自民党の強みを活かす
3 「びわこ」ならではの子育て
2 少子高齢化に備える財政基盤を今、つくる
1 ちよつとまっつて「交通税」



YouTube

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「滋賀交通ビジョン」が策定されると同時に交通税の議論もされています。県民に新たな負担を求めるまに歳入歳出の抜本的な見直しを図るべきです。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。

現在「びわこ」ならではの子育てナンバーワンを目指す、ストップ少子化

現在好調であるモーターボート競走事業繰入金や新たな財源は、出会い、結婚、出産、子育て、教育へ。全国に先駆けた少子化対策がデキル滋賀になります。また学びにはびわこや郷土を多く取り入れ、持続可能な環境保全と文化継承へつなげます。県立校では校則見直しなど自由で魅力ある学校づくりを。



すがめま
としのり

45歳
自民党公認

塚本しげきの活動履歴 プロフィール

2009年11月
～2015年3月 湖南市議会議員
2015年4月～ 滋賀県議会議員(現職)
2018年4月～ 政治団体「チームしが」幹事長(現職)
2021年4月～ 立憲民主党滋賀県支部連合会
組織委員長
2022年4月～ 議会運営委員会(副委員長)
関西広域連合議会議員

議会一般質問

令和1年 6月「今後の大戸川治水に関する勉強会」の
議題について
11月 観光振興について
令和3年 2月 会派代表質問 新年度予算と組織改編
について等(8項目)
6月 淀川水系河川整備計画の変更について
令和4年 2月 コロナ禍における「人の健康」について
9月「子ども・子ども・子ども」について
11月 会派代表質問
滋賀県の行政経営について等(10項目)

子どもに
ツケを
まわさない!

チームしが

立憲民主党



立憲民主党公認
チームしが推薦
塚本しげき

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

4月1日(土) から 4月8日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

東近江市日野町愛荘町選挙区
滋賀県選挙管理委員会

すべては、未来の郷土のために!

●安全確保で安心な暮らしをめざして

災害に強い道路や河川などの社会インフラ整備を進めるとともにシルバー人材の活躍と助け合いの福祉制度づくりを進めます。

●郷土の恵みを生かした力強い産業をめざして

新しい近江米と伝統の近江牛の生産など儲かる農林水産業と、麻等の地場産業を始め果工業振興、にぎわいと生活を潤す商業、けん引する後継者育成を進めます。

●次世代につなぐ淡海の自然・近江の環境保全をめざして

美しい琵琶湖の夕日や雄大な鈴鹿の山々、多様な生き物が住む河川、自然の宝庫中山間地を守るとともに、CO2削減など地球規模での環境保全に取り組みます。

●未来を担う若者の育つ環境整備をめざして

人口減少時代において、出産・子育てがしやすい環境と、こどもの人権保護の制度づくり、また児童生徒の学習環境整備や青少年の健全な育成に取り組みます。

●スポーツと文化で心身ともに健康日本一の郷土をめざして

2025年に滋賀で開催の国スポ・障スポを機会にスポーツ先進県滋賀を創るとともに、地域の文化を守り活かして心身ともに健康な滋賀をつくります。

公平無私で確かな郷土づくり。

経験

- 長浜市副市長の経験から
身近な行政を大切にします。
- 滋賀県管理監の経験から
夢を語る県政を進めます。
- 滋賀県議会議務局長の経験から
より良い政策づくりを進めます。
- 衆議院議員の秘書の経験から
幅広い視点で地域の課題解決に取り組みます。



かとう誠一
さいい ち

プロフィール

昭和29年3月22日
滋賀県能登川町南須田に生まれる
(現・東近江市南須田町)
能登川西小学校・能登川中学校・草津高等学校卒業
第27代能登川町青年団長

昭和47年 4月 滋賀県庁へ奉職
昭和62年 4月 滋賀県東京事務所勤務
平成16年 4月 長浜市副市長
平成21年 4月 滋賀県商工観光労働部次長
平成22年 4月 滋賀県管理監(企画担当)

平成23年 4月 滋賀県議会議務局長
平成25年 4月 大岡敏孝衆議院議員政策秘書
平成27年 4月 滋賀県議会初当選
令和 3年 4月 県議会教育改革・ICT推進対策特別委員会委員長
令和 4年 4月 県議会公共交通・国スポ・障スポ対策特別委員会委員長

今、本当にやるべきことを! 2期目の挑戦!

4年間の実績

- ◆湖東・愛知川線の歩道拡幅工事
- ◆湖東・彦根線畑田道路、香ノ庄道路 維持工事
- ◆東円堂・東出・沖交差点安全防護柵取り付け
- ◆国道307号線湖東三山右折信号機の設置
- ◆佐久良川 根固め工事(修繕工事)
- ◆中戸橋橋梁新設取り付け工事
- ◆市ヶ原町地先の通学路安全対策
- ◆県道百済寺甲上岸本線歩道拡幅工事
- ◆不飲川、岩倉川、南川、五の谷川、大同川、安齋川、加須川、愛知川などの浸没及び雑木撤去工事

本日のプロフィール

昭和41年
愛荘町に生まれる(旧愛知川)
平成16年～平成27年(4期)
愛知川町議会議員
愛荘町議会議員
平成27年～平成31年
衆議院議員うへの賢一郎秘書
平成31年4月 統一地方選挙
滋賀県議会議員初当選

座右の銘 継続は力なり
平成24年～平成26年
愛荘町議会議員
平成25年～平成26年
歴任 県町村議会議長 幹事
平成29年～平成30年
愛荘町区長総代会 会長

道路 河川整備

国道8号・307号のバイパス、蒲生スマートIC、御代辺橋、名神阪連絡道路、中里山上日野線のバイパス工事(愛東外町地先)早期事業着手
愛知川右岸道路、県道西明寺安部居線(第2工区)などの事業早期着手
神郷彦根線の早期開通
愛東外地区急傾斜地崩壊対策事業
一級河川愛知川・不飲川の維持管理、出雲川の河川改修。佐久良川護岸整備など

環境

プラスチックごみ、食品ロス削減対策
下水汚泥の有効利用の推進



私たちも本田ひできさんを推します!

福祉・子育て

待機児童ゼロを目指した保育人材の確保
子ども家庭相談の体制強化
市町などの連携による円滑かつ効果的な新型コロナウイルスワクチン接種の推進

農業

オーガニック農業、環境ごだわり農業の拡大
スマート化を支える基盤整備
ほ場整備事業の早期着手

文化教育

彦根城世界遺産登録に向けた国内推薦
幻の安土城復元プロジェクトの推進
特別支援学校の整備及び教育環境の充実
ICT機器を活用した指導



自民党公認
本田ひでき

《プロフィール》

昭和33年7月15日生まれ

学歴
昭和52年 3月 滋賀県立八口市高等学校卒業
昭和57年 3月 立命館大学理工学部電気工学科卒業

議員活動歴
平成17年10月 東近江市議会議員当選(東近江市議会議員4期)
平成20年10月 教育子ども常任委員会副委員長
平成21年10月 産業建設常任委員会委員長
平成23年10月 議会運営委員会委員長
平成25年10月 副議長就任
平成27年10月 第12代議長就任
平成28年10月 河川整備推進特別委員会委員長
議会情報システム導入検討会座長
平成30年 6月 滋賀県議会議員 補欠選挙当選
平成31年 4月 滋賀県議会議員 選挙当選(2期目)
令和 3年 4月 行政・働き方改革特別委員会委員長
令和 4年 4月 厚生産業常任委員会委員長
令和 3年 4月 総務・企画・公室常任委員会委員長
関西広域連合議会議員

《すおう清二の信条》現場主義・三方よし・利己から利他へ

東近江地域の実情を国政や県政に訴え、課題解決のための予算確保に繋ぎます。

待っていても前には進みません。

行動あるのみ。



活力ある東近江へ全力疾走!

- 防災**
 - 防災・危機管理体制の充実
 - 安心安全を支える河川整備の推進
- 観光産業**
 - 観光と産業を支える道路インフラ整備
 - 中小企業の発展 事業継承を支援
 - 歴史と文化遺産 スポーッと観光に活用
- 農政**
 - 備かる農林漁業で抱いた魅力創出
 - 安心して次代に引き継げる農地基盤の創出
 - 農業活動を守り、支援する政策を国や県に強く要請
- 福祉医療**
 - 健康寿命の伸長 安心できる医療体制
 - 少子高齢化社会進行への対応
- 子育て教育**
 - 道徳・科学・文化 スポーツの振興
 - 子育て環境 木育の推進



自由民主党公認
すおう清二

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

東近江市日野町愛荘町選挙区
滋賀県選挙管理委員会

「反戦平和」貫いて101年の党

東近江・日野・愛荘に“なくてはならない”

大軍拡NO! 命と暮らしを守る議員を

県議会は日本共産党以外、軍拡賛成、知事提案何でも賛成です。「オール与党」では政治は変わりません。自民党以上の軍拡派の維新にも平和の願いは託せません。「政治を変えたい」の願いは県民の立場でぶれずに頑張る松本としひろにお寄せください。

松本としひろで

政治を変えよう

- 新しい県議会で、みなさんと力合わせて
- 18歳まで医療費を無料に
 - 学校給食費を無償に
 - 物価高騰、暮らし・営業・農業を守る
 - 県の「持続化給付金」をつくる
 - 飼料代への県支援
 - 加齢性難聴 補聴器購入の助成
 - 「交通税」導入に反対し、公共交通の利便性の向上
 - 「コストコ」渋滞をおこさせない
 - 県のCO₂削減目標を引き上げる

県の予算は6,000億円。大型公共事業優先から暮らし第一に、お金の使い方を変えれば県民の願いは実現できます。

不正を許さない
本政務活動費の不正使用をただし、統一協会と行政・議員の癒着を追及

身近に役立つ議員として
水近江鉄道の存続に尽力
水農業者の声を届け、暮らしと地域経済を支える農業問題を取り上げる
県政をチェック、命を守る
水国民スポーツ大会の巨大施設建設や開催経費の見直しを求める
水コロナから県民の命と暮らしを守れと知事に19回申し入れ



松本としひろ
日本共産党

社民党推薦



滋賀にも維新の風を

コージが取り組む4つの政策

プロフィール

1977年7月14日生

学歴
能登川中学校 卒業
河瀬高等学校 卒業
キャットミュージックカレッジ専門学校 卒業

職歴
音楽専門学校 ボーカル講師
FMひがしおうみ パーソナリティ
東近江市議会議員 (3期)

活動歴
滋賀県青年団体連合会 会長
日本青年協議会 副会長
関西若手議員の会 会長
全国若手市議会議員の会 副会長



Facebook



Instagram

● 高齡化や過疎化を見据えた「自助」「公助」「共助」の在り方の検討。
● 健康寿命ナンバードワンを目指す

④ 次代を見据えた自治組織づくり

● さらなる少人数学級の実現にむけた教職員の増員。
● 児童生徒のメンタルケアの充実

③ 教育環境の整備

● 出生数減少に歯止めを。出産にかかる費用の完全無償化の実現。
● 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」の底上げ。

② 子育て環境の底上げ

● 議員報酬の削減。報酬の一部を被災地等へ寄附。
● 税の使い方などのチェック、公開。無駄のない県政の実現を。

① 「身を切る改革」の断行



日本維新の会公認 45歳
とじま
戸嶋コージ



選挙区
定例会議
質問回数
66 (通算)

最新情報・活動内容は
こちらから!

特設ページも
ご覧ください

ひたむきに
コツコツと!

「ふるさと滋賀」の 活力強化

- 自都圏情報発信拠点「ここ滋賀」の機能強化
- 農林畜水産業の活性化(グリーン農業推進、園芸作物振興、近江の茶輸出促進、木育拠点整備)
- 御河辺橋・黒丸スマートインター・名神名阪連絡道路等の早期整備
- お城やガリ版等文化財活用による観光振興
- ビワイチツーリズムの振興



「ふるさと滋賀」の ひとづくり

- 「個別最適な学び」の推進 ● 「こどもとしゃん」推進 ● 学童保育の充実強化
- 文化芸術体験活動充実 ● 高校・大学と地域の連携強化 ● 創業支援強化
- 地域スポーツ振興 ● 通学定期割引制度創設 ● 特別支援教育の充実強化
- 平和祈念館活用による平和学習推進 ● 県立高専の整備促進

「ふるさと滋賀」の 安全・安心

- 河川整備の推進(不敵川、愛知川、大岡川、笠砂川、日野川等)
- 砂防対策の推進 ● ICT活用の避難体制整備
- 感染症対策を含めた地域医療体制整備
- 認知症対策・がん対策の一層の推進
- 交通安全対策・歩道設置促進
- 近江鉄道等公共交通の維持活性化
- 消防団の充実強化

無所属 会派さなみ倶楽部代表



もくざわ
木沢まさと
50才

昭和47(1972)年7月7日生・旧蒲生町出身・彦根高等学校・早稲田大学政治経済学部卒業
ドリコ(株)本社勤務/平成19年 県議会議員初当選・平成23年再選・平成27年三選・平成31年四選
ドリコ在職中は、温泉・地下水開発コンサルタントとして、滋賀県内を含む全国各地で活躍!
● 滋賀県がん対策推進議員連盟 事務局長 ● 滋賀県難病対策推進議員連盟 幹事 ● 東近江市学校支援ボランティア
● 東近江市蒲生赤十字奉仕団 団員 ● 東近江市消防第8方面隊第25分団 団員 ● 日野ライオンクラブ理事

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

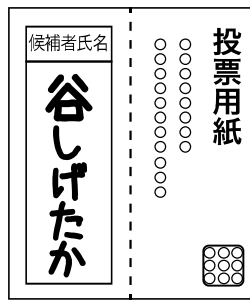
東近江市日野町愛荘町選挙区
滋賀県選挙管理委員会

器用なほうではありませんが、
実直さと行動力では
誰にも負けません。
必ずお役に立ってみせますので、
どうか皆さま、
よろしく願いいたします。

たに しげたか
谷 成隆

- 日野町議会議員（3期）
副議長、総務常任委員長ほか歴任
- 昭和35年 日野町生
日野中学校 県立甲南高等学校卒業
昭和54年（有）谷永工務店入社
平成4年（有）谷永工務店代表取締役
平成16年 近江八幡納税協合理事
平成19年 日野町議会議員初当選
- 自由民主党 蒲生郡日野支部支部長

大切な1票には
谷しげたか
とお書きください



- 18歳から投票できます
- 期日前投票は告示日の翌日から投票できます

- 情熱と実直さで
必ず実現してみせます！**
- ① 給食無償化など子育て世帯をしつかり応援
 - ② 「地域の足」 公共交通をもっと便利に
 - ③ 名神名阪連絡道路など次世代につながる道づくり
 - ④ 農業や小規模事業者など産業をしつかり支援
 - ⑤ 河川改修の強化で安心安全なまちづくり
 - ⑥ 医療従事者育成奨学金制度創設で医療人材確保



自由民主党公認
谷しげたか
(62歳)

プロフィール

経歴

- 1978年1月14日生まれ 妻と3人の子ども
- 大阪府生まれ
- 大阪府立天王寺高等学校卒業
- 関西学院大学法学部政治学科卒業
- 関西学院大学大学院法学研究科修了
- 2003年 大学院在学中に滋賀県へ移住
→ 塾講師としてアルバイトを含めて5年間勤務
- 2008年 参議院議員林久美子事務所に入所
→ 秘書として全県で活動
- 2013年 東近江市議会議員選挙に立候補、当選
- 2015年 徳永久志事務所に入所
→ 秘書として7年間活動

役職

- | (現在) | (過去) |
|--------------------|---------------------|
| ■ 玉穂地区まちづくり協議会 副会長 | ■ 玉穂地区体育協会 理事長 |
| ■ 東近江市PTA 連絡協議会 顧問 | ■ 東近江市立布引小学校PTA 会長 |
| ■ 関西学院同窓会滋賀支部 事務局長 | ■ 東近江市立玉岡中学校PTA 会長 |
| ■ 東近江市立玉岡中学校 評議員 | ■ 玉岡小学校PTA 連絡協議会 会長 |
| | ■ 滋賀県PTA 連絡協議会 副会長 |

趣味

読書・スポーツ観戦(アメリカンフットボール・バスケットボール)・鉄道旅行・料理

連合滋賀推薦、チームしが推薦
国民民主党滋賀県連推薦、社民党推薦



All for Children

～すべては子どもたちの未来のために～

**子どもたちの未来を守ること
地域を守る！**

最終目標
3つの1割UP

15歳未満人口 1割UP
東近江市・日野町・愛荘町の人口

一人当たりの県民所得 1割UP

1 子どもたちを守る

- ・ 高校卒業までの医療費の完全無償化
- ・ 高校授業料の完全無償化(所得制限の撤廃)
- ・ 小中学校の30人学級を完全実現
- ・ 高等学校への通学費、習い事の授業料支援
- ・ インクルーシブ教育と障がい者雇用の充実

2 仕事を守る

- ・ ディーセントワークと最低賃金1,500円の実現
- ・ 派遣社員の直接雇用の促進と、派遣切りを根絶
- ・ 男性の育児取得率を倍増

3 農業を守る

- ・ 農業者戸別所得補償制度の復活
- ・ 特別買取りによる米価の引き上げ
- ・ 地域産農産物のネット販売の充実

4 地域を守る

- ・ 通学路となる県道の歩道整備
- ・ 鉄道・バス路線の維持とパーク・アンド・ライドの促進
- ・ 河川整備の促進



5 滋賀を守る

- ・ コロナ禍からの復活に向けた、中小企業・医療体制への行政支援の充実
- ・ 民生児童委員・消防団員の人員確保と待遇改善
- ・ 自治会やPTAなどの地域団体・社会教育団体と行政との連携強化



立憲民主党公認
さかぐち
坂口あきのり

暮らしを守る 生きる力を育てる ―女性の気づきを実行へ―

プロフィール

- (生年月日) 1961年(昭和36年)5月1日
(学歴) 滋賀県立日野高等学校商業科(昭和55年卒業)
(職歴) 株式会社京セラ蒲生工場勤務(昭和55～59年)
(表彰) 社会教育功労者表彰
文部科学省(令和2年2月14日)
(現職) 滋賀県 地域女性団体連合会副会長
日野町 地域女性団体連合会会長
日野町 社会教育委員会議長
滋賀県 子ども若者審議会委員
近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会委員
東近江地域 道路整備アクションプログラム
地域ワーキング委員
日野町 文化協会少年少女カルチャー教室
茶道教室指導スタッフ
特定非営利活動法人 ひの学童保育指導員

- ⑤ **活気あるまちづくり！**
関係人口を増やし、地域内消費で潤う社会をつくりまします。
① 名神名阪連絡道路を効果的に進め、企業誘致に取り組みます。
② 地域産、農・林・商・工業で地産地消を進めます。
③ 文化・歴史・観光振興で、地域に賑わいを取り戻します。

- ④ **暮らしを豊かに！**
生き生きと暮らせる社会をつくりまします。
① 多様性を認め合い、誰一人取り残されない社会を目指します。
② コロナ禍を支える、エッセンシャルワーカーの処遇を改善します。
③ 賃上げと最低賃金1,500円へ、ゆとりある暮らしを築きます。

- ③ **環境を大切に！**
仕組みを見直し、循環する社会をつくりまします。
① 公共交通の利用を促し、二酸化炭素排出量削減の社会を目指します。
② 多発する災害に備え、自然エネルギーを活用した防災対策を進めます。
③ この資源化を推進し、生ごみを堆肥化しごみを減らします。

- ② **教育力をアップ！**
教育の重要性をみんなで共有する社会をつくりまします。
① 充実した乳幼児教育を、妊娠初期から始めます。
② 食育の豊かな学びから、身体と心の健康をつくりまします。
③ 学校教育と社会教育を連携し、コミュニティスクールを拡げます。

- ① **子育てしやすい環境に！**
安心して結婚や出産ができ、子どもを育てる社会をつくりまします。
① 子ども医療費の無償化を、高校までに拡大させます。
② 保育所の待機児童を無くし、学童保育を充実させます。
③ 学校給食に有機食材を取り入れ、無償化を進めます。



やまもと
山本みえこ
無所属 チームしが推薦
連合滋賀推薦

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

東近江市日野町愛荘町選挙区
滋賀県選挙管理委員会

投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、
4月1日(土) から 4月8日(土)
(告示日の翌日) (選挙期日の前日) までです。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

米 原 市 選 挙 区
滋賀県選挙管理委員会

チームしが公認／立憲民主党推薦
国民民主党滋賀県連推薦／社民党

◆生年月日 1972年6月10日 米原市飯生まれ
◆坂田小、双葉中、彦根東高卒業
慶應義塾大学法学部法律学科卒業
国会議員秘書などを経て、
滋賀県議会議員(2期)
◆家族構成 妻、長女(4歳)

ごとう英樹

昭和48年3月31日生（50歳）

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。